

新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症  
第75回 危機管理対策本部 会議次第

令和4年4月22日

1 開 会

2 議 題

- (1) 東京都策定リバウンド警戒期間における取組を踏まえた新型コロナウイルス感染症拡大防止のための区業務・職員体制の考え方について

3 閉 会

## 東京都策定リバウンド警戒期間における取組を踏まえた新型コロナウイルス感染症拡大防止のための区業務・職員体制の考え方について

### 1 現状の捉え方

3月17日（木）、国では、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が全国的に継続的な現象が続いていること等の感染状況や医療提供体制を・公衆衛生体制に対する負荷の状況について分析・評価を行った結果、東京都をはじめ全国18都道府県で実施されているまん延防止等重点措置を3月21日（祝・月）に終了させる決定を行った。

東京都では、感染の再拡大に備え、3月22日（火）～4月24日（日）をリバウンド警戒期間としていたが、その期間を1か月程度延長し5月22日（日）までとし、都民向けには混雑している場所や時間を避けて行動することや、会食は少人数・短時間での実施に加え、ゴールデンウィークに向けて、ゴールデンウィーク前や期間中のワクチン接種、帰省・旅行等する場合の事前検査の受検、帰省先・旅行先での基本的な感染防止対策を徹底するよう協力を依頼することとしている。

については、区としても、原則として、東京都の対応に沿った形で、感染拡大防止に努めていく。

また、国や東京都では、事業者に対し、感染拡大防止策としてテレワークの推進等の協力を依頼している。

### 2 基本的な考え方

区としては、東京都の方針を踏まえ、区民に人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生をはじめとした基本的な感染防止策の徹底や大人数・長時間での会食などの感染リスクの高い行動を控えるよう呼び掛けるとともに、密閉・密集・密接といったいずれの密状態についての回避等といった感染防止策を徹底しながら業務を継続する。

東京都の方針を踏まえた業務等の継続及び縮小・延期・中止の基本方針については、以下のとおり、危機管理対策本部で示すこととするが、詳細な内容等について各部において、精査し決定する。

また、この考え方については、原則として、東京都におけるリバウンド警戒期間の延長を踏まえ、5月22日（日）までのものとし、5月23日（月）以降の方針については、東京都から示される対策の内容等を踏まえ、適宜変更を加えていく。

#### <職員の出勤について>

- ・出勤時等において密集を避けるため、職員の時差出勤については、業務に支障のない範囲で実施する。

- ・職場内における感染拡大防止の観点から、令和2年9月15日危機対策本部決定「区職員の新型コロナウイルスへの感染が判明した場合等の当面の対応について（令和3年6月18日修正）」の取り扱いを継続する。

#### <併せて行う対応方針>

- ・区民に対しては、なるべく少人数の来庁や、混雑時における入場制限等への協力を依頼するとともに、区側においては、待合場所でお客様の密集状況を引き起こすことのないよう配慮するとともに、郵送・オンライン形式による受付等を推進する。
- ・会議、打ち合わせにおいては、書面開催やオンライン形式を心がける。
- ・多くの区職員が感染若しくは濃厚接触者に特定される等により、職場への出勤が困難な状況が生じる状況を想定し、各部では、万一の事態に陥った際にも区民の混乱を回避できるよう、通常業務について、予め定めた維持・縮小・休止の方針について、常に確認を行う。

#### <東京都の措置を踏まえた業務等の継続及び縮小・延期・休止の基本方針>

- ・高齢者施設、障害者施設、健康支援センター、学校、幼稚園、保育園、児童館、学童クラブ、放課後子ども教室においては、感染防止策を徹底しながら運営を継続する。
- ・図書館、博物館等においては、密閉・密集・密接といったいずれの密状態についての回避と、来場者同士の会話の回避等を含む感染拡大防止策を徹底しながら運営を行う。
- ・不特定多数の参加者のある式典・催し物・講座については、先ずオンライン形式等非対面での開催を検討し、式典等の性質から対面形式での実施が相応しいと判断される場合については、参加者の体調チェック、手指消毒などの感染拡大防止策を徹底するほか、ソーシャルディスタンスの確保や参加者が大きな声を出さないよう配慮しながら運営を行うこととする。

#### <基本的な感染予防策の徹底>

- ・区職員は、一人ひとりが感染拡大を抑制させる意識を強く持ち、区民の行動の規範となるよう、手洗いの励行や咳エチケット等の適切な行動をはじめ、令和2年10月23日危機対策本部決定「東京都北区 庁内共通新型コロナウイルス及びインフルエンザ感染拡大防止対策（令和3年10月20日修正）」の取り組みを改めて確認し、徹底する

### 3 区貸し出し施設の取扱いについて

#### (1) 利用者に関すること

- ・施設内では、原則、マスクを着用する。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行う。
- ・体調がすぐれない（例：37.5度以上の発熱がある場合（または平熱比1度超過）、咳・のどの痛みなどの症状がある）方については、施設利用を禁止す

る。

- 他の利用者や施設管理者等との距離に配慮する。
- 利用施設内の換気を適宜行う。
- 施設利用にあたっては、密閉・密集・密接といったいずれの密状態の発生について回避に努めることとし、必要に応じて来館者の制限などを検討する。
- 主催者は、各種業界団体の定めるガイドラインを参考に対策を講じ、感染症拡大防止に努める。
- その他、各施設の定める利用上の注意事項等を遵守するとともに、施設管理者の指示に従う。

## (2) 区貸出施設における個別の活動内容等に係る配慮事項等

- 北とぴあ、赤羽会館、滝野川会館のホール及び講堂のステージ上での歌唱や演劇、口を使って奏でる楽器の演奏及びこれに類する活動を伴う利用については、業界団体が定めるガイドラインを遵守するほか、適切な予防策を講じることを条件に可とする。
- 上記以外の場所で、コーラスやカラオケ、演劇等の大きな声を出すことが想定される活動や口を使って奏でる笛等の楽器演奏及びこれに類する活動を伴う利用に当たっては、利用人数は定員の50%以下とし、原則としてマスクを着用し、他者との間隔を2m以上確保するとともに、利用者自身がアルコール消毒液を用意したうえで手指消毒を頻繁に行い、窓の開放等による換気の徹底に特に留意するほか、業界団体の定めるガイドラインに基づく対策を条件に可とする。
- ロックコンサート、スポーツイベント等の大声を伴うイベントの開催については、観客人数等は定員の50%以下とし、業界団体が定めるガイドラインを遵守するほか、適切な予防策を講じることを条件に可とする。
- 参加者の水分補給は可とするが、食事(軽食・菓子等を含む)は不可とする。
- バーベキュー場については、東京都の基準に合わせて、利用を再開する。
- 囲碁、将棋、麻雀等について、競技者はマスクを着用すること、対局中の会話を控えること、座席の間隔を1m程度確保すること、頻繁な手洗い・手指消毒を行う等の感染拡大防止策を講じたうえでの利用を可とする。
- 活動内容の制限については、東京都の方針や近隣区の実態等を踏まえ、引き続き適宜見直しを検討する。
- 貸出中止等によるキャンセル料は、定員に制限を設ける場合のみ、時間帯を問わず全額を還付する。

# リバウンド警戒期間における取組

---

令和4年4月21日  
東京都

# 1. リバウンド警戒期間における取組

---

## (1) 区 域

都内全域

## (2) 期 間

令和4年4月25日（月曜日）0時から5月22日（日曜日）24時まで

## (3) 対応の概要

新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に備え、以下の要請、協力依頼を実施

### ①都民向け

- ・混雑している場所や時間を避けて行動
- ・帰省や旅行等、都道府県をまたぐ移動の際は、「三つの密」の回避を含め基本的な感染防止対策を徹底 等

### ②事業者向け

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・催物（イベント等）の開催制限 等

## 2. 都民向けの要請、協力依頼

---

### (外出・移動等)

- 混雑している場所や時間を避けて行動するよう協力を依頼
- 帰省や旅行等、都道府県をまたぐ移動の際は、「三つの密」の回避を含め基本的な感染防止対策を徹底するよう協力を依頼。こうした対応が難しいと判断される場合や発熱等の症状がある場合は、帰省や旅行を控えるよう協力を依頼

### (会食等)

- 会食は、少人数、短時間で実施するよう協力を依頼
- 感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用は自粛するよう協力を依頼

### (その他)

- 「三つの密」の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生をはじめとした、基本的な感染防止対策を徹底することを要請  
(新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項)
- 業種別ガイドライン等を遵守している施設を利用するよう協力を依頼
- 感染に不安を感じる者は、検査を受けることを要請 (法第24条第9項)

# 3. 都民向けの呼びかけ

ゴールデンウィークに向け、都民に以下の協力を依頼

## (ワクチン接種)

- ゴールデンウィーク前にワクチン接種
- 事前の接種ができない方は、ゴールデンウィーク期間を利用して接種

## (検査の実施)

- ゴールデンウィークに帰省、旅行等する場合は、事前に検査を受検
- 旅行や会食後など、不安を感じた場合も検査を受検

## (基本的な感染防止対策)

帰省先や旅行先でも基本的な感染防止対策を徹底

- 会話時のマスクを着用、大声を控える
- 室内、自動車内の積極的な換気
- 体調によっては思い切って予定を変更
- こまめな手指消毒

## (ゴールデンウィークで特に想定される場面毎の注意事項)

場 面	注意事項
帰省、旅行、外出のとき	<ul style="list-style-type: none"><li>●大切な人に会う前にワクチン接種や陰性確認</li><li>●混雑する場所では会話を控えて距離の確保（大浴場や更衣室などの共用部は特に要注意）</li><li>●外出の際は消毒薬を携帯</li><li>●移動中の自動車内でも感染例があるため、こまめな換気を実施</li></ul>
イベントに参加するとき	<ul style="list-style-type: none"><li>●主催者からの要請は必ず遵守</li><li>●寄り道せずに直行直帰</li></ul>
友人等と飲食するとき	<ul style="list-style-type: none"><li>●感染防止対策がとられている認証店を利用</li><li>●少人数・短時間、会話と食事の場面を分ける</li><li>●料理は大皿ではなく取り分ける</li><li>●宴会は感染防止対策を徹底し、感染を拡げないためにも日数を空ける</li></ul>
家庭内	<ul style="list-style-type: none"><li>●窓開けやレンジフードを活用した換気の実施</li><li>●帰宅時、調理前、食事前の手洗い</li><li>●タオルやコップなど家族間での共用は避ける</li></ul>



## 4. 事業者向けの要請、協力依頼

### (1) 飲食店及び飲食に関連する施設

施設の種類 (施行令第11条)	内 訳	対 応
集会場等 (第5号等)	食品衛生法上における飲食店営業許可を受けている 結婚式場等	<ul style="list-style-type: none"><li>●「徹底点検 TOKYOサポート」プロジェクトにおける「感染防止徹底点検済証」の交付を受け、かつ、これを店頭に掲示している店舗<ul style="list-style-type: none"><li>・同一グループの同一テーブルへの入店案内を8人以内（※）、滞在時間を2時間以内（※）とするよう協力を依頼 ※全員の陰性の検査結果を確認した場合は、人数、利用時間の制限の対象外</li><li>・飲食の場における安全安心の確保のために「TOKYOワクシオン」の活用を推奨</li><li>・認証基準を適切に遵守して営業するよう協力を依頼</li></ul></li></ul>
遊興施設 (第11号)	食品衛生法上における飲食店営業許可を受けている キャバレー、ナイトクラブ、ダンスホール、スナック、 バー（接待や遊興を伴うもの）、パブ等の施設	<ul style="list-style-type: none"><li>●上記点検済証の交付を受けていない又は掲示していない店舗<ul style="list-style-type: none"><li>・同一グループの同一テーブルへの入店案内を4人以内、滞在時間を2時間以内とするよう協力を依頼</li><li>・酒類の提供・持込は、11時から21時までの間とするよう協力を依頼</li></ul></li></ul>
飲食店 (第14号)	飲食店（居酒屋を含む。）、喫茶店、 バー（接待や遊興を伴わないもの）等 （宅配・テイクアウトサービスは除く。）	<ul style="list-style-type: none"><li>●カラオケ設備を提供している店舗<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者の密を避ける、こまめな換気を行う、マイク等の消毒を行うなど、基本的な感染防止対策を徹底するよう協力を依頼</li></ul></li><li>●上記の店舗に共通の要請<ul style="list-style-type: none"><li>・業種別ガイドラインの遵守を要請（法第24条第9項）</li></ul></li></ul>

## 4. 事業者向けの要請、協力依頼

### (2) その他の施設①

施設の種類 (施行令第11条)	内 訳	対 応
劇場等 (第4号)	劇場、観覧場、映画館、プラネタリウム、演芸場 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベントを開催する場合、規模要件に沿って施設を使用することを要請（法第24条第9項） （「4（3）イベントの開催制限」参照）</li> <li>● カラオケ設備の提供を行う場合、利用者の密を避ける、こまめな換気を行う、マイク等の消毒を行うなど、基本的な感染防止対策を徹底するよう協力を依頼</li> <li>● 長時間に及ぶ飲食・飲酒など、感染リスクの高い行動を避けることについて、利用者への注意喚起を図るよう協力を依頼</li> <li>● 以下の事項を実施するよう協力を依頼               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従業員に対する検査の勧奨</li> <li>・ 入場をする者の整理等</li> <li>・ 発熱等の症状のある者の入場の禁止</li> <li>・ 手指の消毒設備の設置</li> <li>・ 事業を行う場所の消毒</li> <li>・ 入場をする者に対するマスク着用周知</li> <li>・ 感染防止措置を実施しない者の入場禁止 （すでに入場している者の退場を含む）</li> <li>・ 施設の換気</li> <li>・ 会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置 （アクリル板設置又は利用者の適切な距離の確保等）</li> </ul> </li> <li>● 業種別ガイドラインの遵守を要請（法第24条第9項）</li> </ul>
集会場等 (第5号)	集会場、公会堂、葬儀場 等	
展示場 (第6号)	展示場、貸会議室、文化会館、多目的ホール 等	
商業施設 (第7号)	大規模小売店、ショッピングセンター、百貨店 等	
ホテル等 (第8号)	ホテル、旅館（集会の用に供する部分に限る。）	
運動施設 (第9号)	体育館、スケート場、水泳場、屋内テニス場、柔剣道場、ボウリング場、野球場、ゴルフ場、陸上競技場、屋外テニス場、ゴルフ練習場、バッティング練習場、スポーツクラブ、ホットヨガ、ヨガスタジオ 等	
遊技場 (第9号)	マージャン店、パチンコ屋、ゲームセンター、テーマパーク、遊園地 等	
博物館等 (第10号)	博物館、美術館、科学館、記念館、水族館、動物園、植物園、図書館 等	
遊興施設 (第11号)	個室ビデオ店、個室付浴場業に係る公衆浴場、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券売場、ネットカフェ、マンガ喫茶 等	
商業施設 (第12号)	スーパー銭湯、ネイルサロン、エステティック業、リラクゼーション業、銭湯、理容店、美容店、質屋、貸衣装屋、クリーニング店 等	
学習塾等 (第13号)	自動車教習所、学習塾 等	

## 4. 事業者向けの要請、協力依頼

### (2) その他の施設②

施設の種類 (施行令第11条)	内 訳	対 応	
学校 (第1号)	幼稚園、小学校、中学校、高校 等	<ul style="list-style-type: none"><li>●以下の事項を徹底するよう協力を依頼<ul style="list-style-type: none"><li>・基本的な感染防止対策の実施</li><li>・大学等においては、部活動、課外活動、学生寮における基本的な感染防止対策、飲み会等に関する学生等への注意喚起</li><li>・大学等においては、発熱等の症状がある学生等が登校や活動参加を控えるよう周知すること</li><li>・大学等においては、感染防止と面接授業・遠隔授業の効果的実施等による学修機会の確保の両立に向けて適切に対応すること</li></ul></li><li>●大学等においては、部活動や課外活動における感染リスクの高い活動を制限又は自粛するよう協力を依頼</li></ul>	
保育所等 (第2号)	保育所、介護老人保健施設 等		
大学等 (第3号)	大学 等		

## 4. 事業者向けの要請、協力依頼

### (3) イベントの開催制限

- イベント主催者等は、以下の規模要件に沿ったイベントを開催することを要請（法第24条第9項）

施設規模 イベント類型	施設の収容定員（※2）		
	～5,000人以下の施設	5,000人超～10,000人の施設	10,000人超の施設～
大声なしの イベントの場合 （※1）	収容定員まで可	5,000人まで可	収容定員の半分まで可
		「感染防止安全計画」（※3、※4）を策定した場合 ➔ 収容定員まで可	
大声ありの イベントの場合 （※1）	収容定員の半分まで可		

- ※1 大声ありのイベント・・・観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発することを積極的に推奨するイベント又は必要な対策を十分に施さないイベント  
大声なしのイベント・・・上記以外のイベント
- ※2 収容定員が設定されていない場合
  - ・大声ありのイベント：十分な人と人との間隔（できれば2m、最低1m）を確保
  - ・大声なしのイベント：人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保
- ※3 感染防止安全計画を策定できるのは、「大声なし」のイベントのみ
- ※4 参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベントに適用

- 参加者等に対し、イベント等の前後の活動における基本的な感染防止対策の徹底や、直行直帰の呼びかけ等を行うよう協力を依頼
- 接触確認アプリ等を活用することを要請（法第24条第9項）
- 業種別ガイドラインを遵守することを要請（法第24条第9項）

## 4. 事業者向けの要請、協力依頼

### (4) その他

#### (職場への出勤等)

- テレワークの推進や、基本的な感染防止対策を徹底するよう協力を依頼

#### (ワクチン接種歴や検査結果確認の取組)

- 飲食、イベント、旅行等の活動に際してワクチン接種歴（TOKYOワクション等を活用）や陰性の検査結果を確認する取組を推奨

例) 飲食 : 大人数の会食、ホームパーティー 等  
イベント : 小規模イベント、結婚式 等  
移動 : 都道府県間の旅行 等  
その他 : 高齢者施設での面会 等

令和4年4月21日

建設局

### 建設局所管施設の一部利用再開及び入園方法の変更について

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため使用中止等を行っておりました建設局所管施設につきまして、利用再開及び入園予約を実施することとしましたのでお知らせします。

#### 1 利用を再開する施設等

都立公園内のバーベキュー広場（以下一覧表のとおり）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ご利用いただけるサイト数及び1サイト当たりの利用人数を制限しております。

※ご利用に当たっては事前に予約が必要となります。

※飲食する時間は2時間以内となります。

※詳細は下記ホームページをご確認いただくか、各公園のサービスセンターにお問い合わせください。



【東京都公園協会ホームページ】

公園名	予約開始日	利用開始日
赤塚公園、秋留台公園、大島小松川公園、 小山内裏公園、葛西臨海公園、木場公園、 小金井公園、汐入公園、潮風公園、篠崎公園、 舎人公園、野川公園、光が丘公園、府中の森公園、 水元公園、武蔵野公園、武蔵野中央公園、 夢の島公園、和田堀公園	4月25日（月）	4月27日（水）

なお、上野恩賜公園及び葛西臨海公園の大通り（片側一方通行）については、引き続き規制を継続いたします。その他の公園についても、公園ごとの利用状況に応じ、各施設管理者の判断で休止している施設や立入禁止等の規制を行っている場合がございます。

#### 【問い合わせ先】

建設局公園緑地部公園課 電話 03-5320-5376（直通）

## 2 葛西臨海水族園の入園方法の変更について

令和4年4月29日から令和4年5月8日までの葛西臨海水族園の入園に当たっては、事前にインターネット等による予約が必要となります。入園予約は令和4年4月23日正午から受付を開始します。詳細は、葛西臨海水族園ホームページをご確認ください。



【葛西臨海水族園ホームページ】

## 3 その他

- (1) 有料公園、有料施設の入園に当たっては、園内の混雑状況により入園を制限する場合があります。
- (2) 新型コロナウイルス感染症予防対策として、下記の取組をお願いいたします。
  - ・施設の利用に際してはマスクを着用し、手洗いや消毒を徹底すること
  - ・他の人との距離を十分確保して利用すること
  - ・混雑している場所や時間帯を避けて、家族等の少人数の利用とすることまた、東京都が提供する「東京版新型コロナ見守りサービス」や接触確認アプリ（COCOA）への登録にご協力ください。
- (3) 各施設では感染拡大防止のため、それぞれの施設利用に応じた適切な対策を講じるほか、感染予防のための利用ルールの周知を図っています。詳細は各施設のホームページや施設内の掲示板等をご確認いただきますようお願いいたします。